

第2号様式

# 営 業 経 歴 書

消費税 <input type="checkbox"/> 込み <input type="checkbox"/> 抜き	_____万円以上のものを抜粋
---	-----------------

第1号様式（表面）⑭欄の日付を基準日とし、基準日の以前2カ年における受注内容を記入すること。

①申請営業種目の種類	②注 文 者	③元請・下請の別	④ 件 名	⑤営業対象の規模等	⑥ 履行場所のある都道府県名	⑦ 契 約 金 額 (単位：千円)	⑧ 期 間
							年 月から 年 月まで
							年 月から 年 月まで
							年 月から 年 月まで
							年 月から 年 月まで
							年 月から 年 月まで
							年 月から 年 月まで
							年 月から 年 月まで
							年 月から 年 月まで

注：「消費税」欄は、該当する方の口にレ点を記入すること。また、抜粋した対象の金額も明記すること。（申請営業種目ごとに抜粋する対象の金額を変えてもよい。）

①欄は、第1号様式「2. 申請営業種目」で申請した営業種目名を記入し、申請営業種目ごとにまとめること（上段に「大分類」、下段に「中分類」）。足りない場合は、コピーして利用して下さい。

また、**申請する種目（第1号様式で申請した全ての種目）については、契約金額が少額の場合でも、必ず数件抜粋して受注内容を記入すること。**

⑤欄は、例えば「コピー機〇〇台納入」「〇〇〇システム開発」等、記入すること。

⑦欄及び⑧欄については、役務提供等で継続契約の場合、当該期間に係る金額及び期間を記入すること。また、記入については、契約ごと（種目ごと）とすること（物品の売買で、「平成（令和）〇年〇月から平成（令和）×年×月で、〇〇市役所に合計で〇〇〇千円分納品」というような記入方法は不可）。

同様の様式による営業経歴書を提出する場合には、①から⑧までの項目がすべて明記されていれば、本書の提出は不要です。